

十勝地域公共交通活性化協議会の設置趣旨

1 協議会の設置

十勝管内において、公共交通機関を活用した交流人口を拡大するため、「振興局と市町村が協働で実施するプロジェクト」を実施することとしており、円滑な推進に向け、関係機関を構成員とした「十勝地域公共交通活性化協議会」を設置するものです。

協議会の概要の案は以下のとおりです。

- ・名称：十勝地域公共交通活性化協議会
- ・目的：地域交通利用実態の把握から利用促進など幅広い事業を実施する予定であり、様々な関係機関との連携・協力が必要なことから、事業推進主体として設置
- ・構成員 ※課長級を想定
 - 【行政】：参画 17 市町村、北海道運輸局帯広運輸支局
 - 【事業者】：十勝バス(株)、北海道拓殖バス(株)、十勝地区バス協会、十勝地区ハイヤー協会、北海道旅客鉄道(株)釧路支社
 - 【事務局】：十勝総合振興局地域創生部地域政策課(会長：地域創生部長)
- ・オブザーバー ※必要に応じて参集
 - 【行政】：豊頃町、浦幌町、北海道開発局帯広開発建設部
 - 【事業者】：北海道エアポート(株)帯広空港事務所、日本航空(株) 帯広支店、(株)AIRDO 帯広支店
 - 【団体】：十勝観光連盟、(一社) 帯広観光コンベンション協会、帯広商工会議所、十勝管内商工会連合会、十勝圏複合事務組合、十勝圏二次交通活性化推進協議会

2 主な事業内容

「振興局と市町村が協働で実施するプロジェクト」では、以下の事業を行います。事業実施に当たっては、事業委託を予定しています。

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| ① 公共交通の利用実態調査 | (R4年度広域地域公共交通計画策定に活用) |
| ② 位置情報アプリを活用した行動履歴取得調査 | (空港の二次交通に係る計画策定に活用) |
| ③ 地域住民向けのワークショップの実施 | (十勝広域での地域公共交通計画の策定に活用) |
| ④ 観光客や移住希望者の誘導に向けた新たな旅行商品の仕組みの検討 | (サブスク検討) |
| ⑤ 観光・移住のコンテンツデータの整理と情報発信手法の検討 | (観光・移住の連携) |
| ⑥ 相互情報共有 SNS サイトの作成 | (住民ニーズの相互共有と観光・移住情報提供) |

※詳細については、資料2を参照してください。

3 予算額

20,500 千円(国：10,250 千円、道：6,000 千円、市町村@250 千円×17=4,250 千円)

4 事業期間

令和3～5年度(3年間)

5 その他

当事業は、地域公共交通活性化法の改正に基づく地域公共に係る交通計画策定に向けた調査実施及び利用促進に係る地域交通の維持・確保を目的として市町村との協議の上、内閣府あてに国庫補助事業申請を行っており、本年3月以降に内示、交付決定の予定です。

交通モードの利活用により地域の内外をつなぐ交流人口拡大推進事業 (令和3年度地方創生推進交付金活用)

事業概要

十勝管内の地域住民が買い物、通院や通学などの日常生活で使う地域交通、十勝地域外からの観光客や移住希望者に向けて、空港や駅などの交通結節点からの地域内の主要観光地や移住関連施設を結ぶ地域交通を、それぞれ利用者目線でより使い易くするとともに、観光や移住の関連情報を一体的に発信することで、地域の魅力を向上させ、域内外の交流人口の拡大を図るとともに、次年度予定している十勝広域の地域公共交通計画の策定に向けた情報整理を行うことを目的とする。

協議会の構成員

※協議中

- 十勝管内での広域な連携体制
- 交通事業者および商業・観光・移住等の他分野との連携

【名称(案)】：十勝広域公共交通活性化協議会・構成員(案) ※課長級を想定【行政】：参画(市町村(豊原町、浦幌町を除く)、北海道運輸局帯広運輸支局【事業者】：十勝バス(株)、北海道バス(株)、十勝地区バス協会、十勝地区ハイヤー協会、北海道旅客鉄道(株)釧路支社【事務局】：十勝総合振興局地域創生部地域政策課(会長：地域創生部長)・オブザーバー(案) ※必要に応じて参集【行政】：豊原町、浦幌町、北海道開発局帯広開発建設部【事業者】：北海道エアポート(株)帯広空港事務所、日本航空(株)帯広支店、(株)NPO帯広支店【団体】：十勝観光連盟、(一社)帯広観光コンベンション協会、帯広商工会議所、十勝管内商工会連合会、十勝観光振興事務組合、十勝圏二次交通活性化推進協議会

本事業により解決したい課題

十勝域内交通の利用促進

- 日常的に利用しない人に対して、必要な地域交通の情報が届いていない

新型コロナウイルス感染症拡大による公共交通利用者の減少

- 自家用車依存の加速

(1) 地域資源コンテンツの情報発信と地域と人をつなぐ生活交通サービス改善事業【域内対策】

十勝域外交通の利用促進

- 広域に分散する観光地に移動するには、所要時間が長くなる

- 観光客の減少

(2) 行動履歴データに基づく「十勝の価値(とちのかち)」向上事業【域外対策】

関係者による継続的な取組

- 法改正で、地方自治体による地域公共交通計画策定が努力化されたことを契機に、地域全体で計画策定を行うことで、継続的な取組を推進

地域公共交通計画の策定

予算額 単年度：20,500千円(国：10,250千円、道：6,000千円、市町村@250千円×17=4,250千円)

事業期間 令和3～5年度(最大3年間)

(1) 域内の利用促進

主に学生や高齢者などの地域住民向けのワークショップや戸別訪問など、ニーズのヒアリングを行い、地域の実情を把握した上で、商業施設や病院などの公共施設と連携した地域をつなぐ生活に密着した情報発信と十勝をモデルに実証を行った生活交通MaaSの仕組みを活用しながら、使ってみたくなる生活交通サービスを改善し、SNSの評価機能を活用して地域住民の利用者の声リアルタイムで声を把握します。また、ヒアリングで把握した内容を踏まえ、外出自粛や地域交通を回避する行動様式に対して、「新しい生活様式」の安全・安心に対する取組を推進します。

(2) 域外の利用促進

交通結節点(空港、駅、バスターミナル)を中心とした管内複数の交通モード(航空機や特急、路線バスなど)における観光客や移住希望者などの訪問者の利用状況など独自で実施する誘客キャンペーンなどを活用しながら、徹底的に移動動向調査を行います(訪問者のニーズの把握として、位置情報アプリを活用した活動履歴の提供を依頼し、コロナ禍における移動経路や滞在時間の情報も把握)。

行動履歴に適した必要とされる情報(モビリティ、イベント、アクティビティ、体験メニューなど)の十勝の価値の発信を行います。また、交通事業者や観光事業者と連携し、各種交通モードを組み合わせた使ってみたくなる仕組み(時間短縮、情報一元化、自由・定額制乗車券)を検討し、十勝をモデルに実証を行った観光MaaSの仕組みを活用した旅行商品の造成を行います。その検討・造成した旅行商品を独自で行うオンライン連携交流などの取組を活用しながら発信するとともに、また、コロナ禍において注目されるワーケーションやサテライトオフィスなどの情報も一元的に発信します。

③地域住民向けのワークショップの実施

1. ニーズ等の聞き取り
2. 聞き取り内容を踏まえた生活交通サービスの改善の提案
3. 十勝の各地域におけるニーズ等のくみ取りの手法の提案

調査結果活用

①地域公共交通に関する調査

1. 公共交通の利用実態調査
2. 位置情報アプリを活用した行動履歴取得調査
3. 各推進主体職員による乗降調査

調査結果活用

②情報発信

1. 地域住民ニーズを速やかに把握、反映するための相互情報共有と新たな移動旅行商品の検証結果を含めたワンストップの情報発信を行うためのSNSサイトを構築

SNS活用

④観光客や移住希望者の誘導に向けた新たな旅行商品の仕組みの検討

1. 各種交通モードを組み合わせた使ってみたくなる「時間短縮」、「情報一元化」、「自由・定額制乗車券」など観光客や移住希望者の誘導に向けた新たな旅行商品の仕組みを検討

⑤交通情報を連携させた観光・移住のコンテンツデータの整理と情報発信手法の検討

1. 観光・移住ニーズに合わせたリアルタイム情報の整理と収集
2. データプラットフォームの作成
3. 情報発信手法の検討

連携実施

令和4年度以降の取組

地域ニーズを踏まえた情報発信、生活交通サービスの改善についての効果検証、PDCAサイクルの確立、サービスの磨き上げ、事業主体によるサービスが継続的に改善、提供される仕組みづくりと地域交通の接触機会減少のための仕組みの検討と提供

作成した十勝の価値情報を活用した発信とデータの充実、行動履歴データの運用と継続的観光情報の提供を行える仕組みづくり、地域外からの観光客や移住希望者に関する行動履歴に基づいた各種交通モードを組み合わせた旅行商品実証事業の実施、各種交通モードを組み合わせた旅行商品造成と移住希望者や十勝ファンなど観光以外の新たな来訪者の取り込みに向けて、ニーズの高い地域、コンテンツを継続的に提供できる仕組みづくり

KPI(検証項目と目標値)

- ✓ 十勝管内の乗合バス・タクシーの人口千人当たりの年間利用者数
2018年(基準)：22,067 → 2023年(目標)：22,272
- ✓ 十勝管内への観光入込客数
2019年(基準)：10,265、2023年(目標)：10,460
- ✓ 十勝管内へののちよっと暮らし滞在日数
2019年(基準)：13,005、2023年(目標)：14,091

振興局独自事業との連携※道一斉強振策で実施

- ✓ 広域圏による誘客促進・情報収集
- ✓ 十勝ファンとの交流による関係人口創出事業